

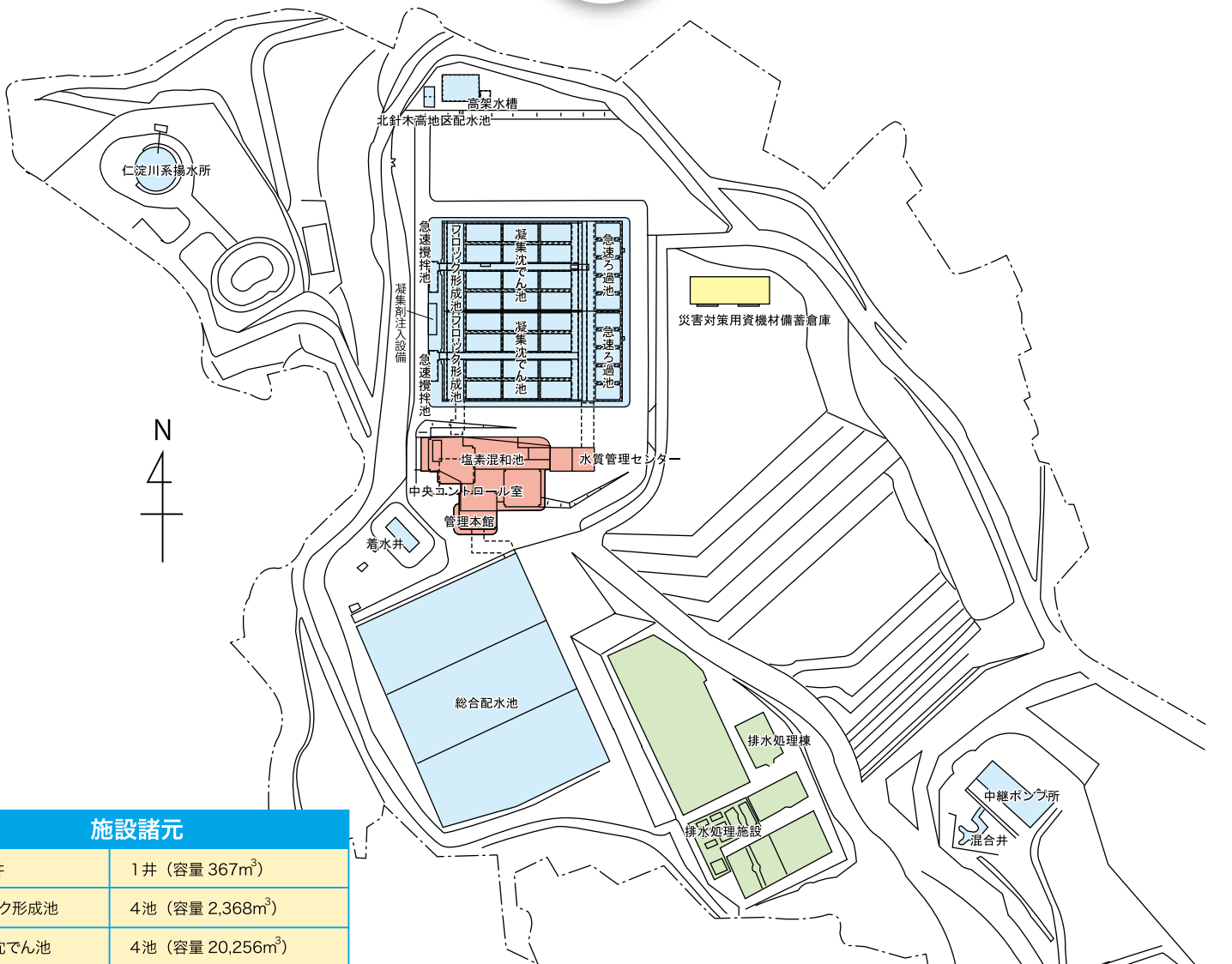
針木浄水場

針木浄水場は、高知市針木北一丁目の山頂に、＜第4期拡張事業＞の中核施設として1979(昭和54)年3月に竣工しました。

当初は、中継ポンプ所や管理本館、凝集沈でん池・急速ろ過池等の浄水処理施設、総合配水池、排水処理施設などにより、先行通水した吉野川水系からの高知分水を原水として、1979(昭和54)年6月、日量最大5万9,000m³の配水を開始しました。その後、仁淀川取水に向けて浄水処理施設と仁淀川系揚水所を増設し、1997(平成9)年4月、仁淀川の伏流水を原水に加え、給水能力も日量最大11万6,000m³と大幅に増強されました。



給水能力
最大
116,000
m³/日



施設諸元

着水井	1井 (容量 367m ³)
ブロック形成池	4池 (容量 2,368m ³)
凝集沈でん池	4池 (容量 20,256m ³)
急速ろ過池	10池 (ろ過能力 123,000m ³ /日)
塩素混和池	1池 (容量 761m ³)
次亜塩素酸 ナトリウム注入設備	2台
凝集剤注入設備	6台
水酸化ナトリウム 注入設備	6台